

ESG活動の気候変動リスク・機会と特許情報分析

GPIF 2020年度ESG活動報告

Click!

www.harakenzo.com/jpn/sdgs

06-6351-4384 (代表)

iplaw-osk@harakenzo.com



1. GPIFの2020年度 ESG活動報告

- ・ GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）は2021年8月、「2020年度 ESG活動報告」を公開した。ESG活動報告は、ESGに関するGPIFの取組みの効果検証を目的として、2017年度から毎年公開されている。
- ・ 2020年度から、アスタミューゼ社の**特許情報分析**を用いた**気候変動リスク・機会に関する報告**が取り入れられた。

(機会 = 脱炭素関連の規制強化により優位性が高まる技術による収益機会)



GPIF 2020年度 ESG活動報告
<https://www.gpif.go.jp/esg-stw/esginvestments/2020esg.html>



2. 2020年度 ESG活動報告における各種分析（抜粋）

国内株式ESG指数のパフォーマンス



ESG指数（4種類+4種合成）の、TOPIXに対する相対株価の推移。ESG指数は、TOPIXに対して高パフォーマンス＝ESG投資は、非

<特許分析> 脱炭素技術の国・地域別の特許競争力

技術領域	技術	日本	米国	欧州	英国	韓国
エネルギー	バイオエネルギー	26.3	100.0	49.4	6.7	22.5
	水力エネルギー・中小水力発電	100.0	39.3	51.3	4.3	33.6
	スマートグリッド・スマートシティ	100.0	81.8	38.5	4.4	43.7
	水素/アンモニア発電	100.0	42.0	38.5	2.2	12.7
	水素システム・インフラ	100.0	68.2	36.7	9.4	54.1
	太陽光発電	100.0	73.4	69.6	5.7	74.3

” HARAKENZO *more* ” IP Information Delivery Section

- 本記事の全文をご希望の方は「記事申込」ボタンをクリック。
(お申し込みの際、本記事の日付・タイトルの入力が必要となります。)
- 公式Twitterでは本記事のような当所オリジナル資料の情報を随時ご案内致します。お気軽にフォローしてください。
- 世界中の知財に関する最新トピックスを月一配信！
配信ご希望の方は「ニュースレター配信申込」ボタンをクリック。

※本記事の提供については、利益相反、その他の理由によりご希望に添えない場合もありますこと、ご承知おきください。